



紀和ニュース

(伊賀の里からの便り)

2013年(平成25年)11月11日

第18号

1、はじめに

今年の夏は猛暑で、季節では秋になっても残暑が続きました。温暖化の影響か、年々過ごしやすい春と秋が短くなっているようで、秋風をあまり楽しむこともなくすぐに寒い風が吹く気候になってしまい、さわやかな秋風を十分に満喫しようと考えていただけに残念でなりません。

かたや経済面では寂しい秋風を連想するような報道がなされています。「日本の消費税UPによる消費の減速懸念・景気が一番良いと言われているアメリカでの国債デフォルト問題等のゴタゴタ・これまで世界経済を引っ張っていた中国の不透明さ」等をマスコミが世間をにぎわせており、この秋風はいただけません。工作機械の販売は景況感に大きく影響されますので、このようなマスコミ情報が営業現場に影響を与えないように願って、お客様から頂くひとつひとつの商談を大切にし、確実なものにしていくことで将来が広がっていくと信じて頑張っています。

下記にご紹介しておりますが、弊社はものづくり支援事業に「超高压クーラント液が使用可能なマシニングセンタ用ツールホルダーの開発」を応募し、無事採択して頂きました。

このような開発を通じて、「魅力ある商品造り、期待される会社創り」を実現していく所存ですが、皆様方のご支援無くして実現いたしません。ご指導ご鞭撻を頂きますよう何卒よろしくお願いいたします。

代表取締役社長 西井幸司

2、ものづくり支援事業 採択

弊社はものづくり中小企業・小規模事業者試作開発等支援補助金事業計画に対し、「超高压クーラント液が使用可能なマシニングセンタ用ツールホルダーの開発」という事業計画を立案・応募し、おかげさまで採択されました。本事業計画の開発目的は以下のとおりです。

15MPa以上の超高压クーラント液は穴加工に有効であることは実証されていますが、マシニングセンタにおけるミーリング加工で超高压クーラント液を使用する方法はいまだ実用化されていません。このため、ミーリング加工において15MPa以上の超高压クーラント液を最適な液量供給する事ができるツールホルダーを開発し、難削材等のミーリング加工を高効率で行えるようにテストしていきます。

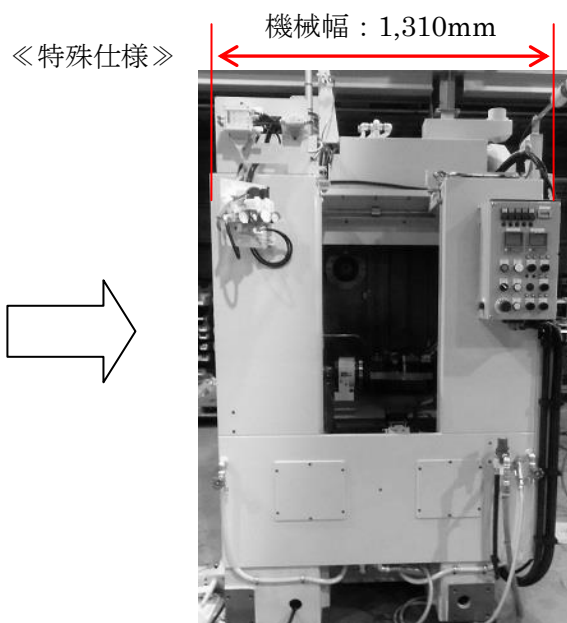
皆様に良いご結果を御報告出来ますように関係者全員が努力してまいります。

3、製品情報 <特別対応品について>

お客様のご要望にお応えするため、弊社では特殊仕様の機械も製造しております。以前にワークにあわせて開口を広く改造した機械をご紹介しましたが、今回は機械幅を最小におさえた横形マシニングセンタ KH-41 をご紹介いたします。標準仕様に比べ、機械幅を220mm 狭めました。省スペースの機械をご検討の際は、是非一度お声をかけていただきますよう宜しくお願い致します。



- ・ストローク(X/Y/Z) : 510/510/510 mm
- ・ATC 本数 : 40 本 (op.60 本)
- ・パレット数 : 2 (op.シングルパレット)



- ・ストローク(X/Y/Z) : 310/510/510 mm
- ・ATC 本数 : 10 本、20 本
- ・パレット数 : シングルパレット

4、アメリカからの便り

アメリカのマサチューセッツ州に駐在している山本です。すでに紅葉のピークを迎えています。日本と同じく今年は10月初旬まで暑い日があったため色づきは今一のようです。写真は、ニューハンプシャー州ノースコンウェイ市にある Conway Scenic Railroad の Valley Train 乗車時に撮影しました。紅葉は今一ですがハロウィンの飾りで街がにぎやかになってきました。日本はこれから紅葉のピークを迎えると思いますがこちらに比べ日本の紅葉は色とりどりでもた格別なので、思い出すと少し感傷的になりました。こんな気持ちになるのも秋ですね。



KIWA Japan

株式会社 紀和マシナリー

〒518-0752

三重県名張市蔵持町原出522-51

TEL: 0595-64-4758

FAX: 0595-64-7529

E-mail: sales@kiwa-mc.co.jp

URL: <http://www.kiwa-mc.co.jp>